

平成28年1月27日(水)  
国土交通省 九州地方整備局  
長崎河川国道事務所

## 記者発表資料

### 長崎県内初！『<sup>そのぎ</sup>彼杵<sup>しゅう</sup>の荘』が重点「道の駅」に選定されました！

～地域創生の核となる「道の駅」の優れた取組を応援します～

道の駅『<sup>そのぎ</sup>彼杵<sup>しゅう</sup>の荘』が長崎県内初となる重点「道の駅」として選定されましたのでお知らせします。

「道の駅」は、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段であり、国土交通省では、平成26年度より関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた取組を選定し、重点的に応援する取組を実施しています。(具体的な支援内容は、次頁を参照)

平成27年度は、地方創生に資する地産地消の促進及び小さな拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置又はリニューアル等に関する企画提案を募集し、この度、有識者のご意見を踏まえ、重点「道の駅」として九州で4箇所、全国で38箇所が選定されました。

#### ○重点「道の駅」

#### 【<sup>ひがしそのぎちゅう</sup>地域福祉】 <sup>そのぎ</sup>長崎県東彼杵町 <sup>しゅう</sup>道の駅「<sup>そのぎ</sup>彼杵<sup>しゅう</sup>の荘」

- ・障害者支援施設が行う移動販売車による買物支援と農産物の集荷・販売システムの確立 (別紙参照)。

※九州の重点「道の駅」選定については、別添 参考資料1をご覧ください。



・お問い合わせ先：国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所

技術副所長 <sup>よこやま</sup>横山 <sup>ひろし</sup>浩

交通対策課長 <sup>いもと</sup>井本 <sup>まきお</sup>真樹男

電話番号 (095) - 839 - 9211 (代表)

## 平成27年度 重点「道の駅」の概要

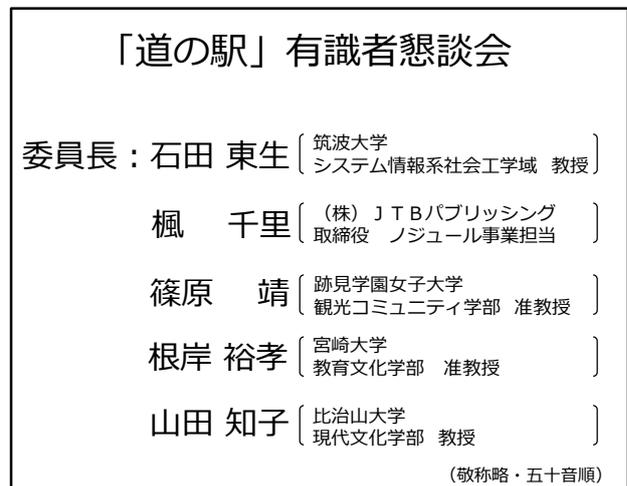
### <主な取組内容>

- ①産業振興  
地域の特産品を活かした産業振興「道の駅」
  - ②地域福祉  
地域の高齢化等に対応した住民サービス（地域福祉）を提供する「道の駅」
  - ③交通結節点  
公共交通の結節点として地域住民に交通サービスを提供する「道の駅」
  - ④防災  
災害時に高度な防災機能を発揮する「道の駅」
  - ⑤観光総合窓口  
地域の観光総合窓口となる「道の駅」
  - ⑥インバウンド観光  
インバウンド観光を促進する「道の駅」
  - ⑦地方移住等促進  
地方移住・ふるさと納税推進に貢献する「道の駅」
  - ⑧交流・連携  
地域間の交流・連携を促進する「道の駅」
- ※上記取組を実践する方法として  
「道の駅」相互のネットワーク化により効果を発揮する「道の駅」

### <支援内容>

- 自治体・関係機関による協議会等を設け、複数の関係機関の制度の活用等について、ワンストップで相談できる体制を作ります。
- 道路区域内の駐車場、休憩施設、トイレ、道路情報提供施設等は、直轄道路事業及び社会資本総合交付金等を活用して国土交通省が支援します。
- 重点「道の駅」の取組を広く周知します。

### <選定の流れ>



# 長崎県内「道の駅」位置図



この地図の作成にあたっては、国土利用院及び国土院を委託し、民間利用の衛星測位システム（GNSS）を利用した。（作成番号 平23農産 第14号）

# 道の駅「<sup>そのぎ</sup> 彼杵<sup>しょう</sup>の荘」

# 長崎県<sup>ひがしそのぎちよう</sup> 東彼杵町

- 地元特産品である「そのぎ茶」等のブランド化や隣接する加工場を活用した商品開発により地産地消の促進
- 障害者支援施設が行う移動販売車による買物支援と「道の駅」への集出荷を連動させた買物支援システムの確立
- ふるさとまちづくりセンター（仮称）を創設し、「道の駅」に総合窓口を設置し空き家バンク制度を活用した移住定住等の促進



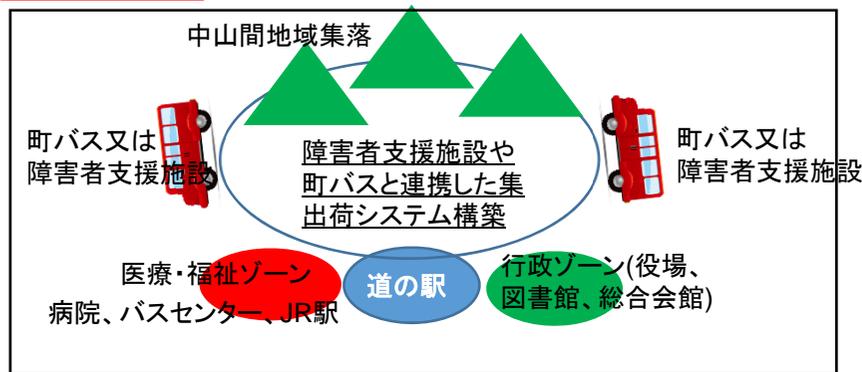
<b>産業振興</b> 6次化商品開発販売	<b>地域福祉</b> 生きがいくくり	<b>防災</b> 一体型防災拠点整備	<b>観光総合窓口</b> 観光資源のPR	<b>地方移住等促進</b> 一流の田舎暮らし
--------------------------	------------------------	------------------------	--------------------------	----------------------------



道の駅物産館入口

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
「彼杵の荘」	長崎県	東彼杵町	国道205号	既設	平成13年	単独型

## 「彼杵の荘」



### <提案の先駆性・ポイント>

- 障害者支援施設との連携を図り、高齢者の生きがいくくりを推進する。
- 浮立や人形浄瑠璃など伝統文化を活かした交流の推進
- 国交省と連携し、地域防災機能の強化を図る。



▲ 障害者支援施設の移動販売者と連携



観光総合窓口整備

◀ 歴史民俗資料館  
伝統芸能紹介



◀ 田舎暮らしプロジェクト  
空き家紹介  
▼ 移住・定住案内



### <実施内容>

- 地域福祉支援団体等と協力して、集出荷等を行うシステムの構築
- 伝統芸能を紹介するなどの観光総合窓口の整備
- ふるさとまちづくりセンター（仮称）の創設を行い、窓口を整備
- 防災機能の向上（発電機施設、備蓄倉庫、防災用トイレの整備）

平成28年1月27日(水)  
国土交通省 九州地方整備局

## 記者発表資料

## 九州地方整備局管内における重点「道の駅」が選定されました！

～地域創生の核となる「道の駅」の優れた取組を応援します～

「道の駅」は、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段であり、国土交通省では、平成26年度より関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた取組を選定し、重点的に応援する取組を実施しています。(具体的な支援内容は、次頁を参照)

平成27年度は、地方創生に資する地産地消の促進及び小さな拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置又はリニューアル等に関する企画提案を募集し、この度、有識者のご意見を踏まえ、全国で重点「道の駅」として38箇所選定しました。

九州地方整備局管内では、4箇所選定されましたのでお知らせします。

## ○重点「道の駅」 4箇所

【地域福祉】 福岡県<sup>やめ</sup>八女市 道の駅「たちばな」

○地域福祉の向上と地域住民の安全安心な地域コミュニティ再生による行政サテライト機能の充実

【地域福祉】 長崎県<sup>ひがしそのぎ</sup>東彼杵町 道の駅「彼杵の荘」<sup>そのぎ しょう</sup>

○障害者支援施設が行う移動販売車による買物支援と農産物の集荷・販売システムの確立

【交通結節点】 宮崎県<sup>のべおか</sup>延岡市 道の駅「北川はゆま」<sup>きたがわ</sup>

○コミュニティバスの乗入れや高速バスストップの設置、パーク&ライド機能を備えた乗継拠点

【地方移住等促進】 熊本県<sup>あそ</sup>阿蘇市 道の駅「阿蘇」<sup>あそ</sup>

○消防署、医療センター等と連携した「小さな拠点」の形成  
○空き家バンク制度を活用し、移住定住等を促進

※全国の重点「道の駅」選定については、国土交通省の記者発表資料をご確認ください。



国土交通省 九州地方整備局

TEL:092-471-6331 (代表)

道路部 道路調査官

おおわき てつや  
大脇 鉄也 (内線:4113)

交通対策課長

やまだ たかのり  
山田 隆則 (内線:4511)

## 平成27年度 重点「道の駅」の概要

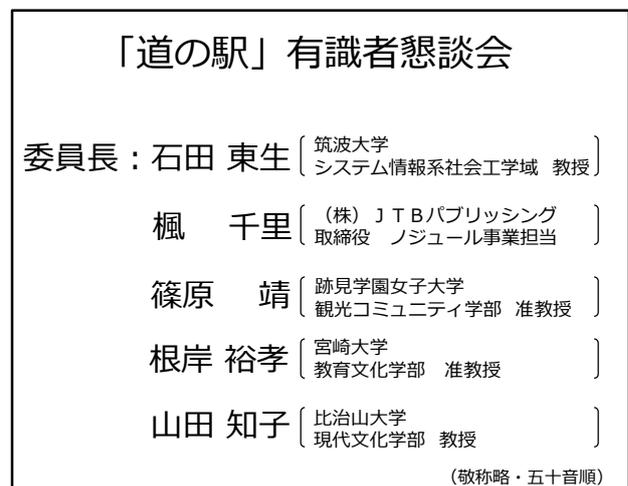
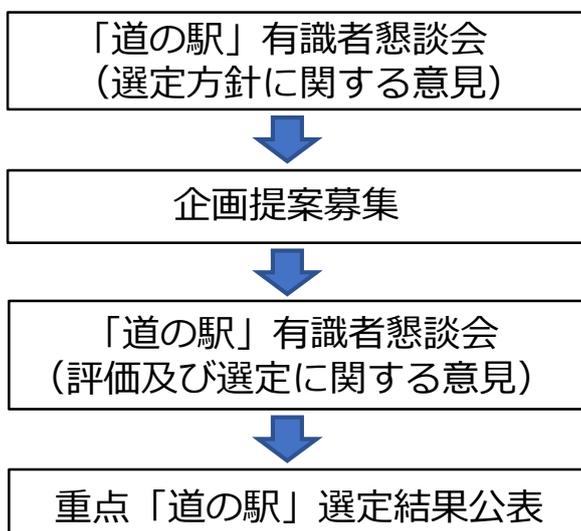
### <主な取組内容>

- ①産業振興  
地域の特産品を活かした産業振興「道の駅」
  - ②地域福祉  
地域の高齢化等に対応した住民サービス（地域福祉）を提供する「道の駅」
  - ③交通結節点  
公共交通の結節点として地域住民に交通サービスを提供する「道の駅」
  - ④防災  
災害時に高度な防災機能を発揮する「道の駅」
  - ⑤観光総合窓口  
地域の観光総合窓口となる「道の駅」
  - ⑥インバウンド観光  
インバウンド観光を促進する「道の駅」
  - ⑦地方移住等促進  
地方移住・ふるさと納税推進に貢献する「道の駅」
  - ⑧交流・連携  
地域間の交流・連携を促進する「道の駅」
- ※上記取組を実践する方法として  
「道の駅」相互のネットワーク化により効果を発揮する「道の駅」

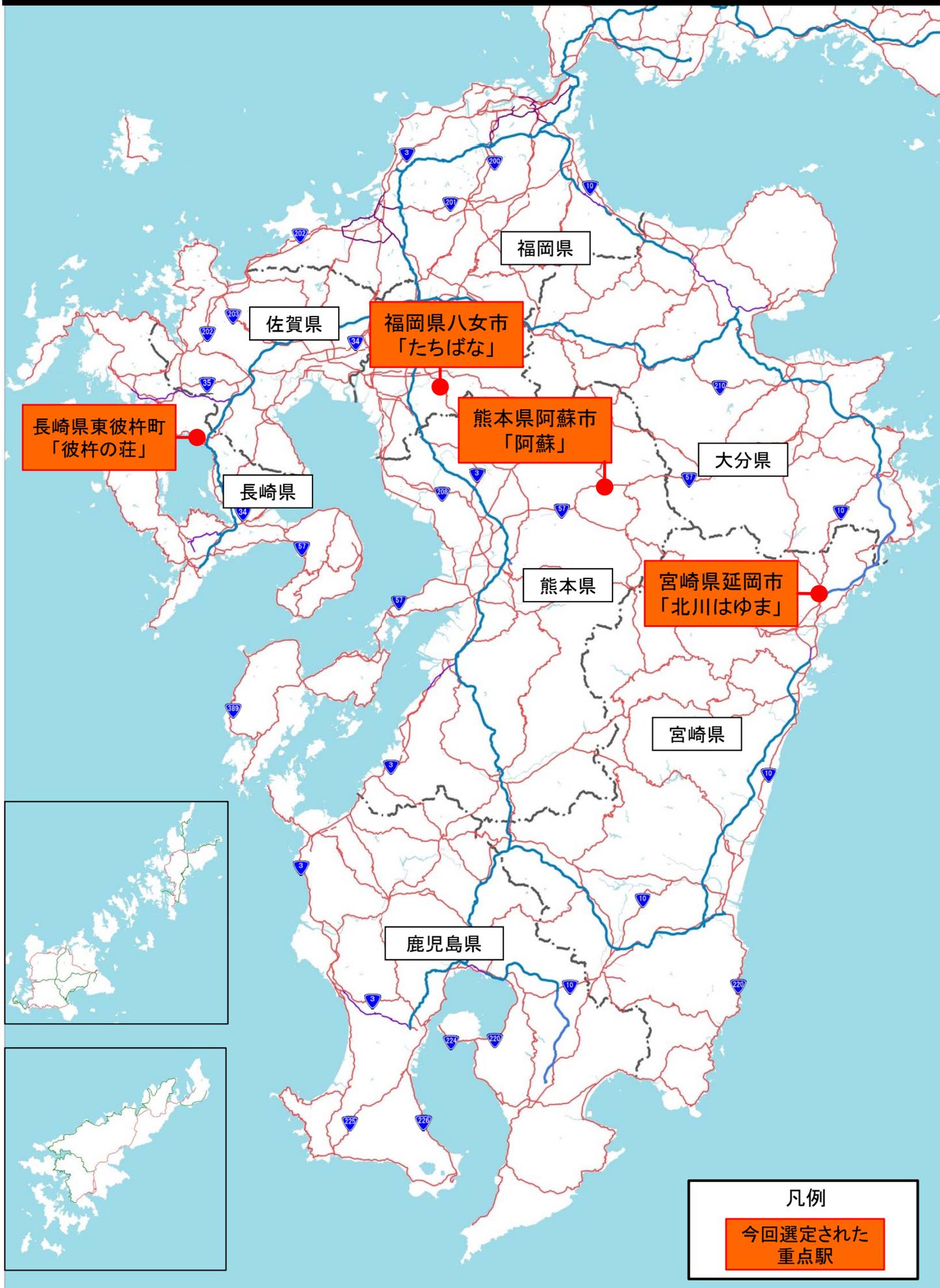
### <支援内容>

- 自治体・関係機関による協議会等を設け、複数の関係機関の制度の活用等について、ワンストップで相談できる体制を作ります。
- 道路区域内の駐車場、休憩施設、トイレ、道路情報提供施設等は、直轄道路事業及び社会資本総合交付金等を活用して国土交通省が支援します。
- 重点「道の駅」の取組を広く周知します。

### <選定の流れ>



# 九州地方整備局管内で今回選定された重点「道の駅」4箇所 位置図



- 道の駅を拠点に地域福祉の向上と地域住民の安全安心な地域コミュニティ再生による行政サテライト機能の充実
- 農産物の信頼性をさらに向上するためのトレーサビリティ<sup>(※)</sup>を活用した農産物管理システムの構築による地産地消の促進
- 空き家バンク制度を活用した移住定住等の促進



**産業振興**  
充実した直売所で地域産業の活性化

**地域福祉**  
地域生活環境の維持・向上

**交流・連携及び地方移住等促進**  
竹林公園で広域的な交流と連携、行政のサテライト機能を構築

### <課題>

#### ①地域の生活環境の低下と 地域コミュニティの存続危機

九州自動車道の開通により国道3号の交通量が減少し沿線の店舗等が衰退するとともに、広域合併により学校等の統廃合や路線バスの運行形態も縮小され、**地域コミュニティの存続**が危ぶまれている。

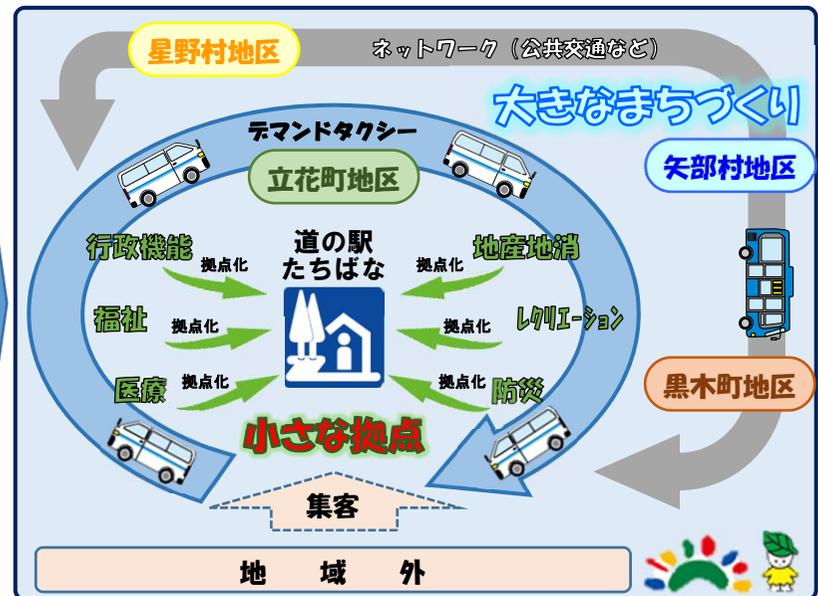


なんでも(施設)がなくなって、寂しくなりました。日用品を買うところもなくなって、困っています。  
(八女市立花地区の住民の声)

#### ②基幹産業である農業の低迷、 活性化に向けた中核拠点が不在

少子高齢化や農家の後継者不足、嫁不足、地場産業の衰退、**限界集落の発生**により、農業人口が減少し農地(田畑)や山林が荒廃化しているとともに、地域の活性化に不可欠な**中核拠点が不在**な状況である。

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
たちばな	福岡県	八女市	国道3号	既設	平成16年	一体型



### <提案の先駆性・ポイント>

一人暮らし高齢者の安全安心な暮らし  
実現の先駆モデル

これまで  
行政、福祉、  
医療施設へ  
利用者が  
個別に赴く

これから(提案)  
道の駅に行政窓口や福祉に  
関するサテライト施設を設ける  
ことで、地域福祉の向上と魅力  
ある交流を創出

### <実施内容>

- 道の駅を拠点に、**地域福祉の向上と安全安心コミュニティの再生**  
⇒行政のサテライト機能の構築、地域交流・地域福祉・地域交流の拠点化の構築、宅配事業者と連携した集荷・配達業務の構築、日用品の調達
- 魅力ある**交流と連携**による創造から**定住促進**へ  
⇒定住促進に向けた行政サービス、消費者や他の道の駅との交流活動の推進、交流施設の整備、大学との連携
- 品質の高いこだわりの**地元産の農作物の販売と地産地消の推進**  
⇒地産地消の推進強化、**6次産業化の促進による魅力的な商品開発**、販売ブースの改修、遊休農地の利活用の推進

- 地元特産品である「そのぎ茶」等のブランド化や隣接する加工場を活用した商品開発により地産地消の促進
- 障害者支援施設が行う移動販売車による買物支援と「道の駅」への集出荷を連動させた買物支援システムの確立
- ふるさとまちづくりセンター（仮称）を創設し、「道の駅」に総合窓口を設置し空き家バンク制度を活用した移住定住等の促進



<b>産業振興</b> 6次化商品開発販売	<b>地域福祉</b> 生きがいつくり	<b>防災</b> 一体型防災拠点整備	<b>観光総合窓口</b> 観光資源のPR	<b>地方移住等促進</b> 一流の田舎磨き
--------------------------	------------------------	------------------------	--------------------------	---------------------------

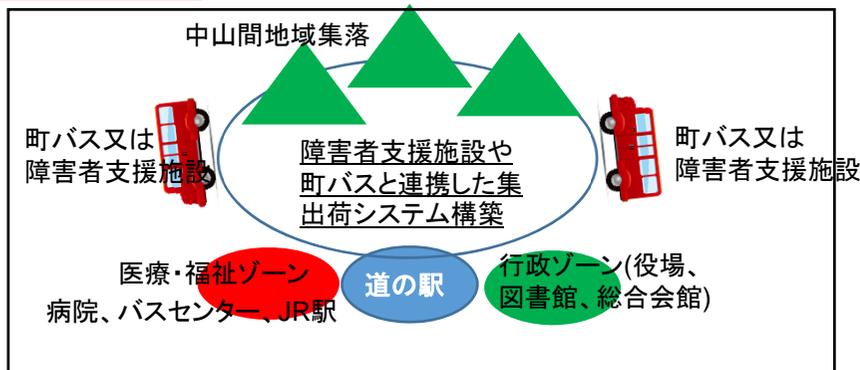


道の駅物産館入口

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
「彼杵の荘」	長崎県	東彼杵町	国道205号	既設	平成13年	単独型

6

## 「彼杵の荘」



### <提案の先駆性・ポイント>

- 障害者支援施設との連携を図り、高齢者の生きがいつくりを推進する。
- 浮立や人形浄瑠璃など伝統文化を活かした交流の推進
- 国交省と連携し、地域防災機能の強化を図る。



▲ 障害者支援施設の移動販売者と連携



観光総合窓口整備

◀ 歴史民俗資料館  
伝統芸能紹介



◀ 田舎暮らしプロジェクト  
空き家紹介  
▼ 移住・定住案内



### <実施内容>

- 地域福祉支援団体等と協力して、集出荷等を行うシステムの構築
- 伝統芸能を紹介するなどの観光総合窓口の整備
- ふるさとまちづくりセンター（仮称）の創設を行い、窓口を整備
- 防災機能の向上（発電機施設、備蓄倉庫、防災用トイレの整備）

- 東九州自動車道の開通という好機を活かした地方創生 ～小さな拠点による持続可能な地域づくり～
- 「道の駅」を拠点とした集荷・宅配サービスやコミュニティバスネットワークによる「ふるさと集落生活圏」の形成
- 地域の特色を活かした地元高校、大学と連携した特産品開発などによる地元雇用の促進
- 市内3駅の管理運営による中山間地域の特色を活かしたサービスの提供

<b>産業振興</b> 地域性豊かな産品 開発	<b>地域福祉</b> 生活サービス支援の 推進	<b>交通結節点</b> コミバスと高速バス の乗継とP&R整備	<b>防災</b> 施設拡充整備による 防災拠点化	<b>観光総合窓口</b> 地域の魅力を総合的 に発信	<b>地方移住等促進</b> 職場体験を通じた地 元高校生の雇用	<b>交流・連携</b> 地域間連携で地域 色豊かな体験交流
-------------------------------	--------------------------------	--	---------------------------------	-----------------------------------	--	--------------------------------------

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
北川はゆま	宮崎県	延岡市	国道10号 東九州道	既設	平成6年	一体型



**日常生活サービス支援の推進**

日常の買物が不便... 普段の移動が不便...

道の駅を拠点とした 集荷・宅配サービス 道の駅への コミバスの乗り入れ

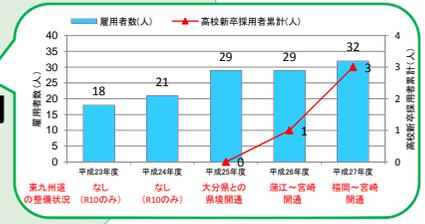
◆新たな取組みイメージ◆

移動困難者への 食料品宅配 ← 道の駅 北川はゆま → 地域産品の集荷

連携 コミバスを活用

金融機関 鉄道駅等 医療施設 老人福祉施設

日常サービスの提供で、地域高齢者の見守りも可能



- <提案の先駆性・ポイント>
- サービスエリアとしての機能を充実させ人の流れを創出します。
  - 観光地へ誘導するハブ機能を充実させます。
  - 地域の特色を活かした特産品開発で生産意欲を向上させます。
  - 高齢者の日常生活の利便性向上を図ります。
  - 立地条件を活かした防災拠点としての充実を図ります。
  - 高校生に就業体験の場を提供し地元での雇用の促進します。

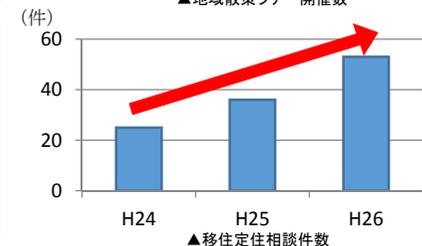
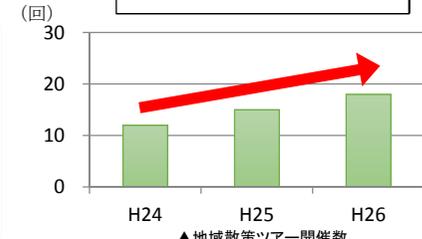
- <実施内容>
- 駐車場の拡充や配置計画、休憩機能の見直しを行います。
  - 観光情報発信機能の充実と観光ナビゲータの育成を図ります。
  - 歴史や神話、地域特有の産物を活用した特産品を開発します。
  - 集荷や宅配などの生活サービス支援を進めます。
  - レストランを拡張し避難施設としても活用できるように整備します。
  - 実演販売や料理の提供など交流や体験の場を提供します。

- 阿蘇市で生産・加工された特産品のブランド化及び地元高校と大学等との連携による商品開発
- 「道の駅」と消防署、医療センター等の連携による「小さな拠点」の形成
- 空き家バンク制度活用し、移住定住等を促進するための「おためし生活支援事業」の創設

産業振興 特産品ブランド化の推進	地域福祉 地域福祉の提供	交通結節点 地域への交通支援	防災 防災啓発、地域防災	観光総合窓口 阿蘇・九州圏内の案内拠点	インバウンド観光 外国人来訪者へのおもてなし	地方移住等促進 移住定住を支援促進	交流・連携 交流連携促進
---------------------	-----------------	-------------------	-----------------	------------------------	---------------------------	----------------------	-----------------



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
阿蘇	熊本県	阿蘇市	国道57号	既設	平成20年	一体型



### ＜提案の先駆性・ポイント＞

- 世界農業遺産と世界ジオパークの認定を世界で唯一併せ持つ阿蘇地域の中心の立地を背景に、道の駅に隣接する交通や福祉、防災、観光施設を連携させて更なる集客に努め、更に多彩な取組で地産地消の促進及び地域活性化につなげ、阿蘇市全体へ波及効果をもたらす主要拠点を形成
- 移住定住に関する情報提供だけでなく、移住決定前の仮移住により地域をより把握(確認)できる体験生活(住居や就労等生活全般支援)を提供

### ＜実施内容＞

- 地元の高校・大学等との特産品共同開発および販売促進
- 国内外からの全ての来訪者に対応可能な総合案内体制の整備
- 防災及び福祉関係機関等との連携可能な機能(事業)の整備
- おためし生活支援事業による移住定住の支援促進